

守護者

基本宣言

キャラクターメイキング時、以下の基本宣言×4個を書き写しましょう。

現場再構築
〔起動〕 黒：8
「現場再構築によって包丁を召喚！ 包丁の所持者になった者を証言せよ！」
オブジェクト1つを対象に、対象を召喚して、質問1つに回答させる。対象は自身の認識で証言し、真実として登録する。 証言では嘘はつかないが、対象の知性では理解できない情報は証言できない。
LV2：人並み知性付与 LV3：視覚情景を見られる

人物再構築
〔起動〕 —
「人物再構築によって富井を召喚。 事件発生時、自分がどこにいたか証言せよ！」
キャスト1名を対象に、対象を召喚して、質問1つに回答させる。対象は自身の認識で証言し、真実として登録する。 証言では嘘はつかないが、知らない情報は証言できず、誤認の情報もそのまま語る。
LV2：誤認部分が判明 LV3：過去記憶を見られる

審問宣告
〔起動〕 ？：15
「審問宣告を宣言しましょう！ 隠された知よ、私の問いに応じなさい！」
あなたを対象に、YES/ NOで回答できる質問をし、GMは回答がYESならYESと回答し、真実として登録する。 回答がNOの場合や、そもそもシナリオ内に回答がなければ“不明”とGMは告げる。
LV2：Noの回答も得られる LV3：二択提示も可

物質再変成
〔起動〕 赤：5
「物質再変成、扉の鍵はオートロックに変更され、扉が閉まると自動的に施錠する！」
オブジェクト1つを対象に、対象サイズが手のひらサイズなら、別のものに変更する、という幻想として登録する。 どんな形状と機能を持つかは自由に決める。
LV2：人サイズまで可 LV3：家1軒サイズまで可

誓約再設定
〔起動〕 —
「誓約条項をあたえる！9時から11時の間、栗田は現場に入ることを禁ず！」
キャスト1名を対象に、対象の心を洗脳し、指定した1日、対象が“絶対にしない禁則”を定めて、幻想として登録する。 対象が禁則の行動をしないことが保証される。対象が直接死亡するルールは設定できない。
LV2：永続も可 LV3：“すべき義務”の設定も可

脚本検索
〔起動〕 赤：12
「脚本検索をおこなう！ 谷口および密室に関する情報を検索！」
単語最大2つを対象に、GMは対象すべてを含んだ未発見の脚本を検索し、該当した数が1件なら幻想として登録する。 該当が1件でない場合、該当件数だけわかる。
LV2：OR 検索が可 LV3：NOT 検索が可

上限HP

10

復元
5

初期魔力

黒

0

初期魔力

赤

0

上級宣言

キャラクターメイキング時、以下の上級宣言×1個を選んで、書き写しましょう。

キャスリング
〔起動〕 ？：15
「キャスリングを起動する。 我らを照準することはできない！」
継続：自陣営を対象に、対象は宣言魔法と盤面干渉の対象にならない。 対象に発揮していた宣言魔法の継続効果も解除する。
LV3：継続効果は任意のものだけ選んで解除可能

概念鉄槌
〔起動〕 ？：9
「この概念鉄槌に破壊できないものはない！ この台所の壁を破壊する！」
オブジェクト1つを対象に、対象が故障した、あるいは破壊されているという幻想として登録する。 この効果により故障や破壊された対象からは、どのような方法でも証言を得られなくなる。
LV3：故障、破壊されている対象の修復が可能

パラノイアスケール
〔起動〕 赤：8
「パラノイアスケールを起動する。 このナイフの大きさは通常の2倍である」
オブジェクト1つを対象に、対象のサイズを縦、横、高さすべてを2倍、あるいは半分に増減させるという幻想として登録する。 ただし、このサイズの増減が他のものを破壊したり動かしたりしてはならない。
LV3：10 倍または 1/10 にも増減可

パラノイアレプリカ
〔起動〕 赤：8
「パラノイアレプリカを宣言。 礼拝堂を解錠する鍵は10本ある！」
オブジェクト1つを対象に、対象が盤面に存在する個数を1〜5個の間から、正確に個数を決定する幻想として登録する。 ただし、この効果で対象オブジェクトの所在や所有者が誰かまでは指定できない。
LV3：1 兆個まで指定可 LV3：0 個を指定可

権限魔法・魔法体系

キャラクターメイキング時、以下の権限魔法×4個と魔法体系×3個を書き写しましょう（〈シールド〉〈リベンジ〉は90ページ参照）。

〔守護権限〕
〔起動〕 ？：1
〔魔力〕 — / —
守護者としての基本権限を行使する
告 発 援 護
継続：あなたを対象に、対象に〈シールド：X〉か〈リベンジ：X〉のいずれかをあたえる（75頁参照）。Xはプレイした1枚ごとに＋1。 この局面の終了時、この魔法は解除される。

〔防壁権限〕
〔起動〕 ？：15
〔魔力〕 2 / 1
盾となって味方への攻撃を防ぐ
告 発 援 護
継続：自陣営の参戦者1名を対象に、対象がダメージを受ける時、対象の代わりにあなたがダメージと追加効果を受けてよい。

〔粉碎権限〕
〔起動〕 ？：15
〔魔力〕 7 / 3
超重量の魔法武器で敵を薙ぎ払う
告 発 援 護
継続：あなたを対象に、対象の告発攻撃に「威力＋X」回数－1する。 Xはプレイした1枚ごとに＋1。 この局面の終了時、この魔法は解除される。

〔城砦権限〕
〔起動〕 赤：20
〔魔力〕 5 / 9
城砦級の戦略防衛結界をめぐらせる
告 発 援 護
継続：自陣営を対象に、対象がダメージを受ける時、それを半分（端数切上）に変更する。 効果を発揮後、この魔法は解除される。

体系：黒杖一章



体系：黒杖二章



体系：赤杯三章

